

香川県における可視化サイトの 活用事例について

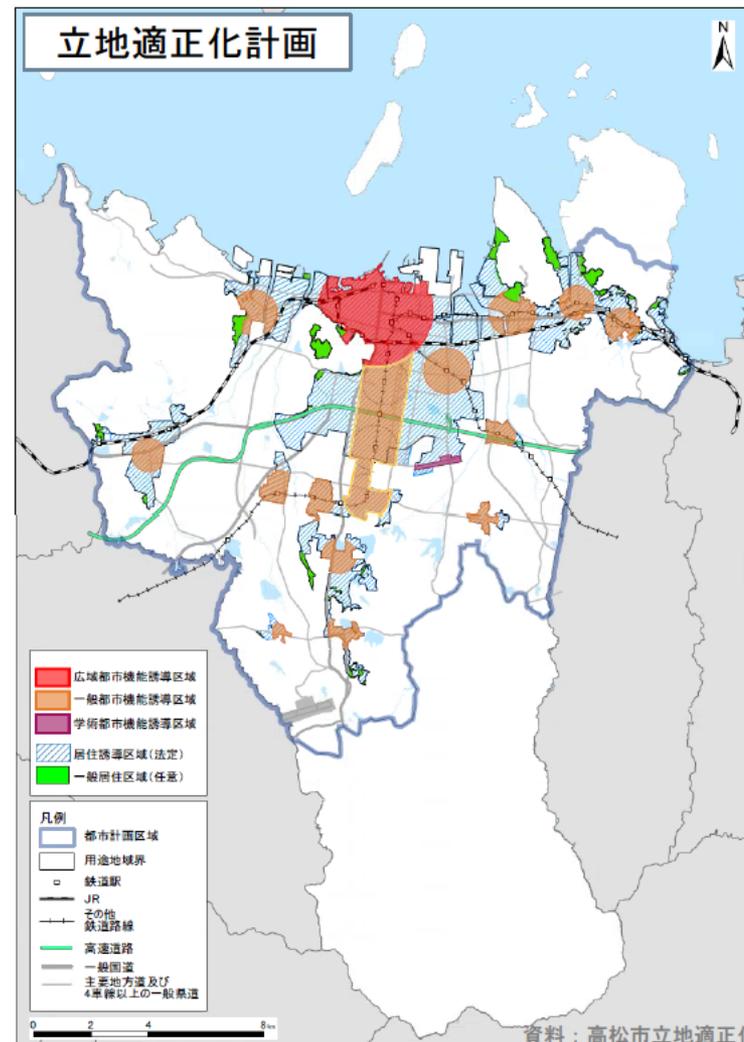
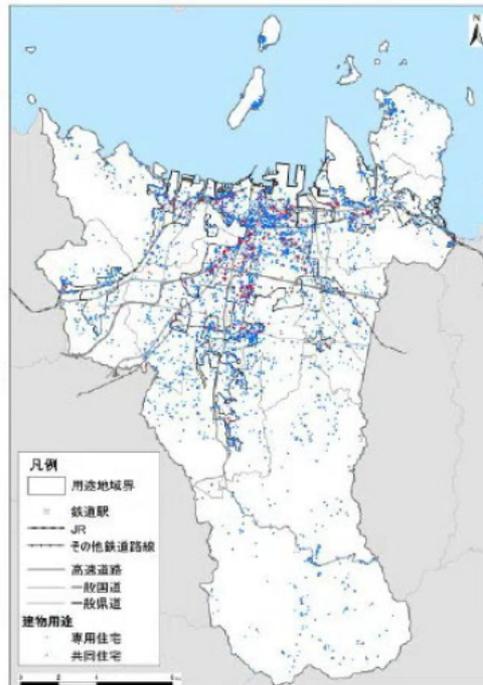
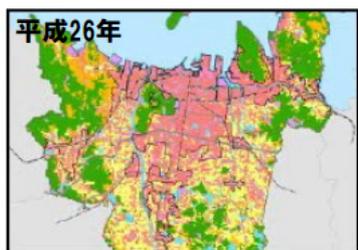
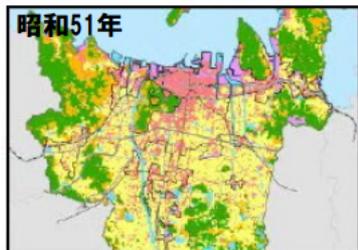
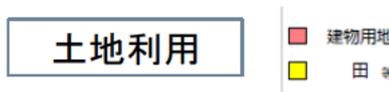
香川県土木部都市計画課

1. (香川県事例) 高松市の都市計画について

- ・ 高松市は香川県の県庁所在地で、県民の4割が居住
- ・ 平成30年4月に立地適正化計画を策定

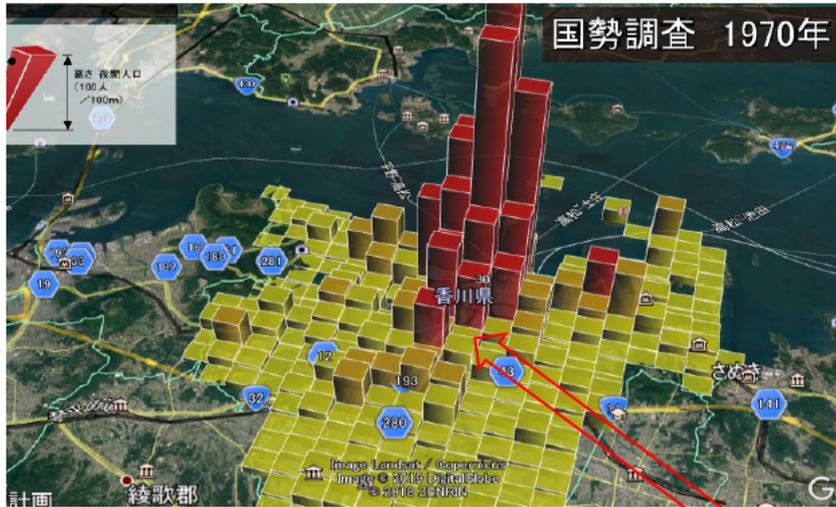


- 昭和51年から平成26年の土地利用の状況は建物用地が大きく拡大
- 空き家は中心市街地及び用途地域内に多く分布



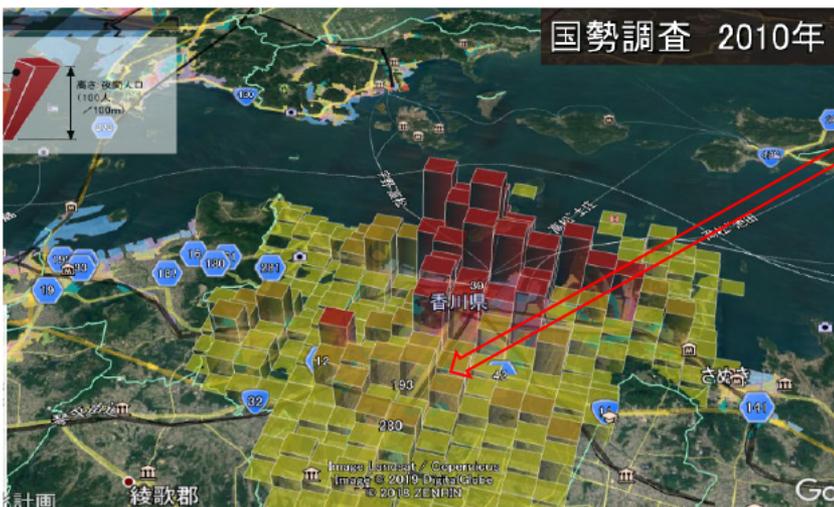
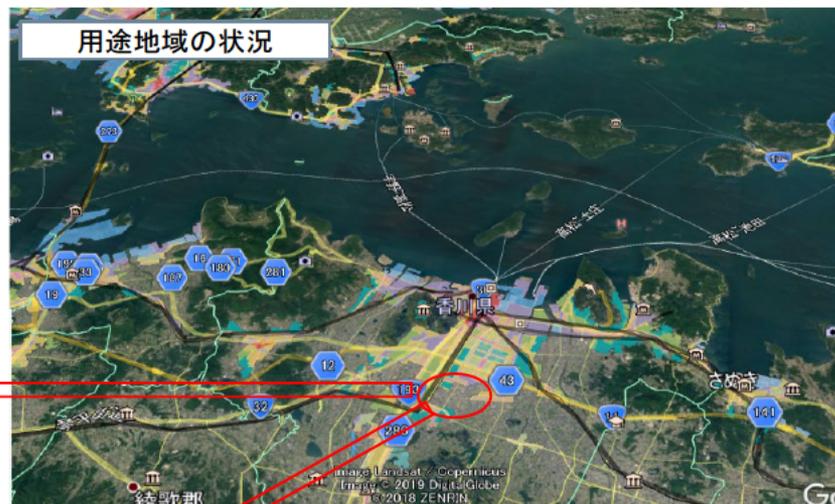
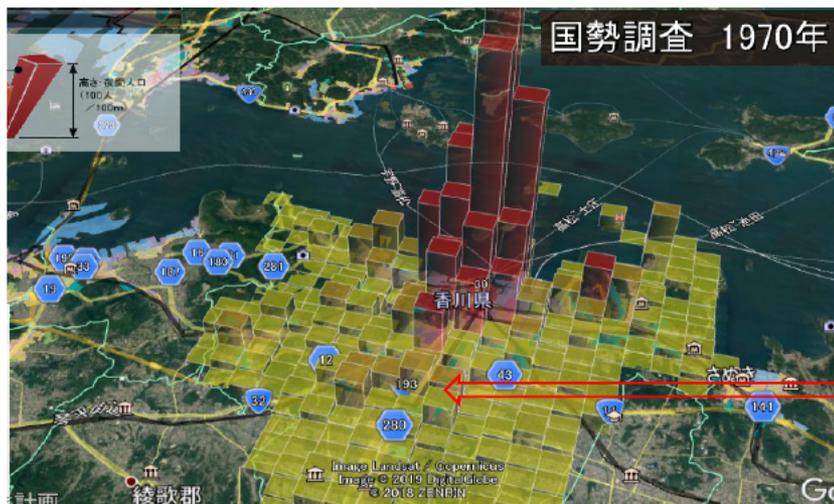
2.高松市の人口の移り変わり

鉄道沿線で人口密度を維持している一方、中心市街地では人口密度が低下。郊外部の用途地域縁辺部で宅地開発が進む。



3.都市計画データと人口の経年変化を重ねて見る

GoogleEarth上で用途地域を表示し、用途地域縁辺部での人口増を可視化。人口分布の経年変化と見比べて現状分析。



利用方法として

用途地域の他にも、公共交通利用圏や経済基盤（販売分部、産業密度）と重ねることや、将来人口などと組み合わせることで課題の見える化、現状分析を行い、施策の立案や検証に役立てる。

4.他の市（丸亀市）の事例

丸亀市も他の都市と同様、郊外部に人口が流出。近接する市町との生活圏が重なるため、分析に可視化サイトを活用



- 丸亀市、坂出市、多度津町、宇多津町は地形による隔たりが無く、一つの行政域だけでは課題解決が図れない場合がある。
- 可視化サイトを活用することで、他の行政域も視覚的に確認できるため、施策連携に役立てることが可能。

5.市町都市計画担当者会での周知

日時：2018年11月9日

市町都市計画担当者会及び都市交通マスタープラン勉強会で可視化サイト利用方法についての周知とデモを実施。

資料
(抜粋)

2018年11月9日
市町都市計画担当者会及び都市交通マスタープラン勉強会

「i-都市再生(都市構造可視化ウェブサイト)」 の活用について

香川県土木部都市計画課
都市施設整備G

目次

1 i-都市再生とは	P3
2 都市構造可視化活用の背景	P5
3 都市構造可視化ウェブサイトの概要	P7
4 都市構造可視化の特徴	P11
5 活用事例	P15

市町都市計画担当者会での周知状況



参加者のことば

- ビジュアルで訴えるので、住民説明で活用できると思う。
- 立地適正化計画を策定する上で活用していきたい。
- 他の都市のデータが見れるのがいい。

6. 可視化サイトの活用・今後の予定について

都市構造計画可視化サイトの利用方法について議論



各種担当者会・勉強会の
周知事項について検討

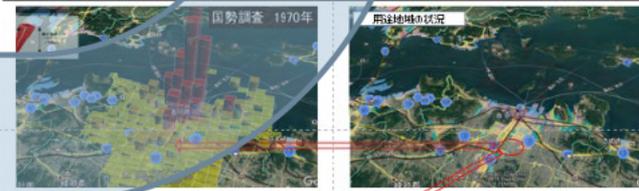
市町都市計画担当者会での周知状況



市町による可視化サイトの活用

3. 都市計画データと人口の経年変化を重ねて見る

GoogleEarth上で用途地域を表示し、用途地域縁辺部での人口増を可視化。人口分布の経年変化と見比べて現状分析。



利用方法として
用途地域の他にも、
公共交通利用圏や経済基盤（販売分
部、産業密度）と重ねることや、
将来人口などと組み合わせることで
課題の見える化、現状分析を行い、
施策の立案や検証に役立てる。

今後の予定

活用状況の報告
フィードバック

香川県土木部都市計画課